

令和8年度 佐伯教育事務所「指導・支援の重点」に係る組織的な取組【グッドポイント】No. 1

1. 授業改善の推進

(1) 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想

「個別最適な学び」の推進【上堅田小】



課題解決のために「一人で・友達と・先生と」学び方を児童が自己決定（時間配分の工夫）

「自己調整学習」の基盤構築【佐伯南中】



育成を目指す資質・能力をポスターで視覚化し、全校での組織的な取組

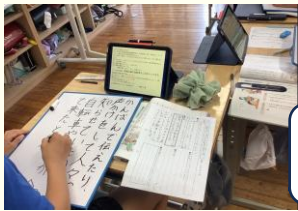
学習の個性化のための「単元内自由進度学習」【本匠小】

学年	単元	学習計画	学習状況	学習成果
6年	分数のかけ算	学習計画	学習状況	学習成果
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6

「学習の手引き」をもとに、自らの学習内容を決める学習計画

(2) 必然性のある「対話」と、学びを実感できる「振り返り」の充実

「協働的な学び」の推進【木立小】



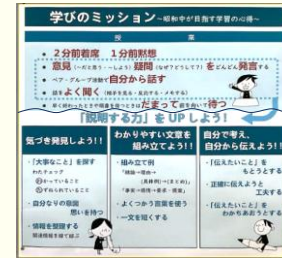
学び合いの深化を目指した「ガイドシート」の活用

「つくし」を活用した対話の充実【切畑小】



「つなげる・比べる・質問する」を視点とした学びを深める対話

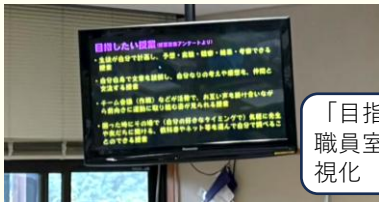
「学びのミッション」による対話の充実【昭和中】



「説明する力」を高めるための対話

(3) 子どもの姿で検証・改善する組織的・主体的な校内研究の充実

ビジョンの共有と視覚化【本匠中】



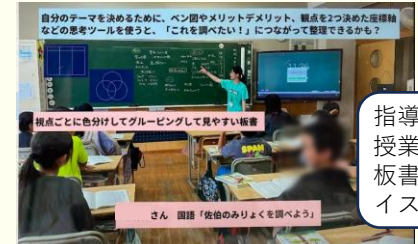
「目指したい授業」の姿を職員室のモニターに常時可視化

「目指す授業」の共有【渡町台小】



「楽しくて力の付く授業」の具体的な姿を、全職員で協議し共有（グループは世代別）

開かれた教室文化の醸成【鶴岡小】



指導教諭が日常の授業参観を行い、板書写真でアドバイス

(4) 誰一人取り残さないよう個別支援の手立て

個別目標の設定【下堅田小】



個の課題に応じた適切な目標・手立てを設定した授業

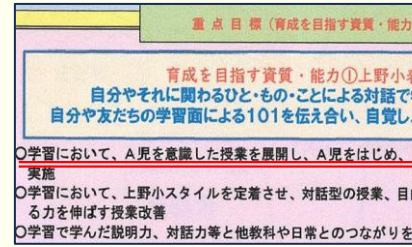
組織的な実態把握と支援【明治小】



支援ファイルの作成から日常の活用を目指し、データの日々の更新

（課題）個別支援ファイル保管活用できないままのことが多い → 保管から活用へ

焦点をあてた児童を意識した授業づくり【上野小】



学級で焦点を当てた児童を意識した授業づくりにより、すべての児童にとっての学びを保障

○学習において、A児を意識した授業を展開し、A児をはじめ、『だれ一人取り残さない授業』の実施
○学習において、上野小スタイルを定着させ、対話型の授業、目的・相手・方法を意識した説明する力を伸ばす授業改善
○学習で学んだ説明力、対話力等と他教科や日常とのつながりを自覚させる振り返り等の実施

スケジュールと業務を可視化し、ミドルリーダーが、企画、提案、準備を計画的に進める仕組み（校務分掌の小中バディ制）